



2026年3月6日

# YACかわら版690

## ワールドビューでSAR

YACかわら版ではコペルニクスブラウザでセンチネル1など天候に関わらず電波で観測できる合成開口レーダー（SAR）データを利用していました。本号ではNASAワールドビューでセンチネル1データを利用する方法を紹介します。

- 1 ワールドビューを開く <https://worldview.earthdata.nasa.gov/>
- 2 ランドサット8-9やセンチネル2データを使用しない場合は「Welcome to NASA Worldview」に「✕」
- 3 左下の「Add Layers」をタップ 
- 4 画面中央「Hazards and disasters」欄に「sentinel 1」とタイプ
- 5 画面中央「Showing 13 out of 1263」欄5番「OPERA...SAR...」に☑ 右上の「✕」をタップ
- 6 観測日を2026年6月4日にすると、東北地方の観測データが表示される。7の位置にカーソルを置くとオプションが表示される。8 オプションでは関連レイヤーが設定できる。6月4日のセンチネル1Cのデータは北側は西に傾いているので衛星が北上する昇順データである。「...-Ascending...(Sentinel-1C)」に☑チェックをする。
- 9 センチネル1は、進行方向右側を観測するので、観測データ握側に地上軌跡が表示される。
- 10 観測データは、 ダウンロード可能である。「GeoTIFF」データは、衛星データ分析ソフトEISEIで利用できる。
- 11 座標系はEISEIで変換する。

ワールドビューで利用できるセンチネル1データは、コペルニクスブラウザの「RGB ratio」レイヤーに相当するものです。みなさんもワールドビューでセンチネル1データにチャレンジしてみませんか。

ワールドビュー共有URL <https://go.nasa.gov/40hRkcX>

コペルニクス共有URL <https://link.dataspace.copernicus.eu/y13f>

